

1. 件名：東海再処理施設の廃止措置計画に係る面談
2. 日時：令和5年3月29日（水）16時00分～16時55分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
審査グループ 研究炉等審査部門
細野安全管理調査官、上野管理官補佐
検査グループ 核燃料施設等監視部門
栗崎企画調査官
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
バックエンド統括本部 バックエンド推進部 次長
安全・核セキュリティ統括本部 安全管理部 施設保安管理課 マネージャー 他1名
再処理廃止措置技術開発センター 副センター長 他10名
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. 配付資料
資料1 ガラス固化処理技術開発施設（TVF）における固化処理状況について
資料2 高放射性廃液を扱わない「高放射性廃液貯蔵場（HAW）及びガラス固化技術開発施設（TVF）ガラス固化技術開発棟以外の施設」の火災防護策の確認について（報告その2）
資料3 東海再処理施設の廃止措置等に係る面談スケジュール（案）

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	規制庁のですね、それでは本日の本論を始めますのでよろしくお願いします。
0:00:07	章では、資料に基づいて説明をお願いします。
0:00:15	原子力モリカワベース、まず資料1ということで、TVF3号溶融炉の大庭深井と試験の実施状況ということで、ご報告させていただきます。
0:00:27	まず2ページ目になります1ポツということで元ということでTBSで、令和6年度末からの打ち上げに向けて3号炉を製作を進めておりまして現在、
0:00:41	いろいろな基本性能を、ガラスの加熱優勢流下開始停止性等の確認を目的にモックアップ試験等によりガラス化ベットの用いた試験を実施しておりまして、現在までの状況を報告したいというふうに考えております。
0:00:57	2ポツ、ガラスカレット試験の概要ということで試験期間については3月6日から熱上げを開始しまして、4月13日、これ宝来観察をまで踏まえた期間ということで4月13日までを予定しております。
0:01:14	両括弧3として試験内容を4点、今回試験、内容と確認項目を挙げてます。まず一つ目の熱上げ試験ということでこちらの、
0:01:25	要はガラスカレットを供給してまず間接加熱装置熱上げを開始し、その後ある一定ほど達したが電極間通電に移行し、
0:01:35	まさに加熱加熱時の状態を確認するというので、確認項目としては、熱上げ時の招請電極間通電の確認、温度計の作動生徒を確認することにしてます。
0:01:48	②として金戸具志堅ということで、こちらの熱上げ完了をですね、
0:01:54	50キロ程度の部分流下、1回当たり50キロこれ複数回繰り返して、一番温度パラメーターを触れなくちゃいけない部分ですねそちらの方の流下
0:02:09	の条件、あと流下操作性等を確認するという事です。確認項目としては、
0:02:16	炉内の温度分布、あとはガラスの駅、炉底低温運転条件、あとは溶融機能流下機能等を確認するという事です。
0:02:25	これらで何回かそのオオブ分流化を行いまして、ある程度、運転パラメータを確認した後に、最終的には③ということで、炉内のガラスを全量抜き出し試験ということで、窓レイアウト試験、三本目のガラスを全量抜き出すということです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:44	確認項目としては、それぞれの液位低下に対応した流下条件等を確認していくこととなります。
0:02:51	最後⑨として、
0:02:53	どれアウト5を炉内の状態を確認するということで確認項目としては、炉内の構造物レンガ電極等の健全性を確認していくということです。
0:03:03	両加工のその他としてこの作動試験中、機構とメーカーで試験評価ワーキングというのを開催し、
0:03:13	それぞれの試験の状況を評価、行いまして必要に応じて、運転条件の変更等を行っていくとしております。
0:03:22	3ページ目、バラスカレット試験の実施状況ということで、
0:03:28	3月6日から熱上げを開始しまして3月20日までで一応所定の温度までガラスを小勝熱上げを完了しています。
0:03:37	この下の調整でありますとか、電極間通電、自然局間通電補助電極間通電。
0:03:45	あと流下前は主電極の底部電極間通電を行いますとそれぞれの通電の確認、あとは、それぞれの温度計ですね炉内に配置しますし電極補助電極等の温度計の作動性を確認しております。
0:03:59	②として烏ガラスのカレット溶融試験こちらは3月21日から29日にかけて1回当たり先ほど50キロの分流過去5回を行ってます。
0:04:11	それぞれ炉外の温度分布、これは炉底低温運転ですね時は補助電極温度が820プラマイず、神戸は年電極の温度は700800分程度。
0:04:23	あとバランス液位としては1本分の流下折ろうレベルとハイレベル感のレベルの1、
0:04:30	あとは6、運転条件ということで604点条件から流下に向けた炉で加熱時間約5時間、あとは流下前に、ノズルの上段加熱ですね、これを行うときの回収温度ということで、底部電極温度が720度以上。
0:04:48	やっぱこれの確認、あとは余裕確認ということで良い機能ということでガラス温度を1100度プラマイ50度程度。
0:04:54	あとは流下機能ということで、流下開始時の運動、これは電極の温度が745度以上、こういうような2号炉の基本とした温度範囲。
0:05:05	等の確認を行っております。
0:05:08	その後、③ということでドライアウト試験ということで講習の月曜日からですね、レイアウトを開始しております。
0:05:15	一本目は3月21日、2本目が3月28日、3番目が本日の明け方ですね流下施工一応完了しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:25	今後炉内冷却後に炉外監査と実施する予定ということで現状の進捗となっています。
0:05:32	4 ページ目、試験スケジュールですね、今説明した通り 3 月 6 日から開始して、最後予両 (4) 今後ですね炉内法令でその後、炉内観察して、3、1 月の 13 日ごろ終了予定。
0:05:48	下の写真ですねこちら各県等での溶融炉の設置状況とあと流下の状況ということで、こちらの右側の下の図が実際のこのバランスの流下の状況ですね。衛藤野末の先端部については、
0:06:07	別のカメラから確認します。その写真を参考に記載しております。
0:06:13	5 ページ目、こちらが先ほどの試験項目で参考としてなんですけど口頭で説明した通り、紙に書いて読み上げておりますけどちょっと心のイメージということで、熱上げ試験ということカレットの状況ですのでもまず間接加熱装置で、
0:06:30	熱上げをして、01 秒弁だったら発電して
0:06:35	確認すると、②火力試験ということでそれぞれの要件を繰り返し確認していくということで最後③床ドレンアップで全量を抜き出すと、こういうような試験を行ったということです。
0:06:49	最後 6 ページ目が方鳥瞰図ってことで、先ほど主電極でありました補助電極底部電極のレイアウトですね。このような位置での通電確認を行ってきたという状況でございます。
0:07:00	説明の方は以上となります。
0:07:05	はいありがとうございます。規制庁合格委員会でもお願いします。当たり前ですけどよ。4 ページを見る限り、
0:07:16	あれですね、湯川が綺麗ですね。
0:07:22	そうですね撒か列島使ってるっていうのと阿藤間もずれも今回、当然なんですけどまっすぐなので、ちょうど、
0:07:33	ノズルの先端からちょうど真ん中カーで流下してるって、前の時は少しちょっと右に寄った時代に寄ったりっていうのがあったんですけども今回中央から綺麗にこう、抜けてるっていうのがあるので、ある程度ガラス飲んで、
0:07:46	ある程度一定温度まで上がっているんで、かなり流下開始から順調に抜き出しているというような状況でございます。
0:07:54	この段階で引っかかるとやばいですけど、まだ根来ね。
0:08:00	やはりここで一つ本当はもうここはこのぐらいの流下してもらわないと困るということで

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:05	一応想定通りの、順調にここら辺の流下は経過してるような状況というふうには認識しております。はい、わかりました。
0:08:16	いや、1点すいません神野栗崎です。試験評価ワーキンググループ開催されてるようなんですけど、
0:08:27	これって最後に何か取りまとめとかそういったことを評価をまとめられる上ですか、何かそういうものではないんですかね。
0:08:37	文章、こちらは基本的に運転中メーカーと機構の方で随時データを確認しながら評価していくことになっておりまして最終的にはメーカーの方で今回の
0:08:50	ガラスカレット試験を踏まえて、3号炉についての評価というのをしますので最終的には評価した結果を取りまとめる形になります。以上です。はい、わかりました。ありがとうございます。
0:09:05	です
0:09:08	今回の結果ってのは何か、次ぐ頃と比べて、何カー流か早いとか遅いとか、その
0:09:18	度に号炉と同等の結果が入れてるっていう状況なんですかね。
0:09:26	減少そうですね詳細なデータ少し評価はしますけど今んところ、ほぼ2号炉と同じようなデータで順調に流下できてるっていうようなことは確認できておりますので、もう少し違い等については少し評価をしますけど、今SOAの大体2号炉の運転パラメーターで、
0:09:46	5%3号炉も運転可能ではないかというふうに考えております。以上です。はいわかりました。
0:09:53	他よろしいでしょうか。
0:09:56	知ったら、次はあれ、工程洗浄についてですかね。
0:10:04	ファイフォー
0:10:05	フォームを
0:10:07	化学処理施設課のオオブの方から報告させていただきます。前回3月8日に面談させていただいていますが、その移行の状況ということで報告させていただきます。
0:10:22	まず添付の、取り出しに関わる手続き関係なんですけど、1月18日に計量管理規定の変更申請を行ってましたが、
0:10:35	こちら3月10日に認可されたという状況になっております。
0:10:39	現場においては、走行性で発生しました、もうこれ3月9日まで行った後に、誤操作防止のためのバルブへの識別表示、こちらは3月25まで行っています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:56	そのあと 3 月 1617 にかけて、本規程に基づく部分は部長の施設点検でこれで異常がないということを確認した上で、
0:11:07	先週の水曜日ですね、3 月 22 日からプールの取り出しをお伺いしております。
0:11:14	現在は大量のプルトニウム液位を係留層を増益する作業を I A E A の立ち会いのもとで行っております、
0:11:24	工務部プルトニウムは 1 層の方に送気する形になるんですが、1 回目、4 月 12 から 13 に予定しています。
0:11:34	羽瀝層の損益作業については、把握して、戸田 G が 8 月中旬頃まで化けて行うんですが、
0:11:45	その関係の会を予定しています。
0:11:49	阿藤若生と店舗の取り出し取り組みの取り出しの作業の開始までですね。
0:11:56	こちらは現地の規制検査官の方に、開始、終了時期、工程洗浄の方法ですね、こちら情報共有させていただいております。今後も適宜進捗状況の共有を図りつつ、安全に作業を進めたいというふうに考えております。
0:12:14	一方ウランの取り出しに関わる状況ですが、エースこちら設備点検の方を進めています。
0:12:21	1 月から報告本格的に作業開始してまして、そういう系統の健全性確認ですとか、計装設備の点検、こちら継続しておりますして 7 月まで 2 終了する予定でおります。
0:12:35	8 月以降は、'ショートをですとか、蒸発缶の操作組を行いまして、
0:12:41	12 月から、浦野と李さんを介して、令和 5 年度内に、予定通り形工程洗浄を終わらせるということで今後進めていきます。
0:12:53	報告は以上です。
0:12:56	はいありがとうございます。規制庁側から確認等あればお願いします。
0:13:05	特によろしいですかね。
0:13:08	はい、ありがとうございますそれでは引き続き資料 2 について説明をお願いします。
0:13:17	建設省が小林に入れさせていただきます。こちらはもう、春木入江協議会の重田の施設の火災防護対策。
0:13:27	後 6 番ですね、を行っております。
0:13:31	d す。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:32	前回 3 月 16 日の公開会合においてこの屋内の状況について問い合わせがございまして、ちょうど 3 月、先週、
0:13:42	3 号の施設の多くダウンを完了いたしましたからまずご報告ということで、説明させていただきます。
0:13:52	一つ目の丸のところでしたクダウンの実施状況を表 1 に示しているというところの下に表示ございますがこちらも計画通り各施設 25 施設ですが、
0:14:05	オオブ版を終了して現在の調査結果の整理取りまとめを進めているという状況でございます。
0:14:14	一つ目の前の応募をとるところ以下でございますがこちらは 2 月 15 日の面談にて指摘を受けましたその他の施設で放射性物質は使わない施設が調査対象になっていない。
0:14:28	選定の理由といったところを追記してございまして、その理由といたしましては再処理施設のうち、放射性物質は澤井施設、例えば電源供給施設等については、
0:14:41	火災によりその機能が失われたとしても How、TVF における高放射性廃液の沸騰までには十分な時間余裕がありまして、すでに
0:14:53	廃措置計画で示した事故対処設備による沸騰の未然防止が可能であるというところを、またそれ以外の施設で放射性物質を扱っている施設におきましてこれらの電源等の供給がなくなっても、
0:15:10	直ちに容易な放射性物資の放出に繋がることはないというところからこういった電源局設備、放射性物質を使わない施設についてはプラントウォークダウンの対象外としていると。
0:15:21	記載してございますように詳細の説明につきましては補足資料 1-5 に記載してございます。
0:15:29	二つ目の丸のところでは庁舎の状況ということですが 25 施設で確認箇所につきましては約 400 ヶ所ほどになりました。
0:15:41	こちらの方につきましてもサンプルとして確認状況補足資料の方で詳しく説明いたします。
0:15:50	最後に、三つ目の丸のところでは今後これらの調査結果を取りまとめて今後監視チーム会合で説明したいと考えてございます。
0:16:01	次のページ、1 ページに組みまして、こちら個別制度内ということで、市町教育の対象指定という考え方を詳細に示したものでございます。
0:16:15	初めのパラグラフのところにはまず、再処理施設の全施設ということで表 1、こちら 10 ページ、11 ページにあります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:24	状況を含めて
0:16:28	すべての施設を網羅的に示した表になってございます。
0:16:33	施設の入賞をが一番左からいきまして何、
0:16:38	真ん中のカラムが最初に施設として運営していた時の主な機能を右側廃止措置における現在の状況と、
0:16:47	いったところを示すという形で整理してございまして、放射性物質圧空の施設としましては 11 ページの一番下の一般施設ということで、
0:16:58	この電源供給施設ということでこれは固化 T V F ですガラス固化管理と
0:17:05	がございまして。
0:17:07	あとそれ以外に、冷却水圧縮空気等供給している U D 施設ですとか、それ以外の施設に電源供給施設である開閉所、
0:17:20	あと浄水ですね消火数とか今日は冷却水の補給水等も水源になります。資材小久保白井湖、あとボイラー等を使って蒸気を供給している中央監視施設、中央運転管理室というものがございまして、
0:17:37	規則です。これらの施設の中の選定ということで、8 ページに戻っていただきまして、まず一つ目のポツ、こちらは
0:17:48	高放射性廃液に伴うリスクが集中する H o w T V F につきましては、もうすでに
0:17:57	販促計画の中で、火災防護審査基準に基づきまして火災の発生防止、感知消火影響軽減の対策を示して、現在それらの設備の設置に向けた工事を進めている。
0:18:11	そういったところですでに十分な火災対策がとられていることからブランド奥田の対象ですというところを示してございます。
0:18:19	二つ目のポツのところはは、T V F 以外で放射性物質を扱う施設ということで、こちらは比較的多様な施設がございましてさらに三つほどの類型化で整理してございまして、
0:18:33	一つ目、津川氏とは、再処理運転を、を終了した及び精製工場等も、より先行の施設、
0:18:42	いうところでございます。こちらは分離精製工場ウラン脱硝施設、プルトニウム転換技術開発施設では、
0:18:50	もう置いてもう行わないということで運転時と比べて大幅にリスクが低減された状況であります。
0:18:57	こちらの※1 ということでより詳細にその理由を備考で示してございまして、まず最初に運転を行わなくなったことから工程内で大量の核燃料物質を使うことに伴うリスクがなくなりました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:10	さらに火災防護という観点では特に大きいのはランプ鳥井信抽出操作に使うような有機溶媒を使用しなくなったプラント内に存在しなくなったという点でリスクがかなり低減しているというところ。
0:19:24	もう一つ、一般改修技術開発施設につきましては昨年度工事して保管しておりましたクリプトンガスの管理放出を完了してきておまして、
0:19:35	ポイント放射性ガスの他のところのリスクは低減されております。
0:19:39	また最後に現在工程と性状を、工程毎の回収可能核燃料物質の取り出しが進められていることから、さらにリスクを低減していくと考えてございますが、
0:19:50	現時点においては使用済み燃料の保管や一部の工程においてまだあの廃液廃棄物を保管しているといったところからプラントを管の対象として選んでございます。
0:20:01	次は二つ目の類型、こちらは貯蔵施設間廃棄物の収納施設関係、或いは製品グラム利用施設もございまして、
0:20:11	こちらは今後廃止措置になっても、規模を継続するということからプログラムの対象にしてございます。
0:20:18	三つ目の類型の低放射性廃液の溶媒及び加熱固体廃棄物の処理を行う施設と、
0:20:26	1泊を送った施設でございまして、こちらは今後バックする系統女性の体等に配設置作業において生じる、低放射性廃液等の処理を含めて運転のケースが必要です。
0:20:38	さらにステップ等で放射性廃液を保管しているといったところからぶらぶらを対象としてございます。また分析上につきましてもこういった工程管理ですとか計量管理等で分析等の作業を継続する必要があることからプラントを行う対象としてございます。
0:20:59	協定上最後のポツが一般施設といったところで、先ほど冒頭に募集しました通り、電源や各種U T Tを供給する施設、
0:21:11	つきましては火災発生供給金ですね、電源冷却水流水の供給機能が喪失したとしましても、T V Fで取り扱う高放射性廃液が沸騰するまでの、
0:21:22	十分な時間を迎えて安全対策として導入した可搬型の事故対処設備による事故の発生を防止できると。
0:21:30	いうことをまた貼るT V F以外の放射性物質を保管貯蔵する施設についても、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:36	有意な放射性物質の流出のために速やかな動作が求められるような動的機能ですね、小波津発電所というところ公開中機能ですとかそういったところは、
0:21:49	そういったのを速やかに動力を用いて安全を維持するために必要なものというのがあり、
0:21:56	ということで、工事の備考米集というのをつけさせていただきます。
0:22:03	そこで詳細解説をしてございまして、その他の施設で扱う放射性物質を扱うを含む廃棄物は崩壊熱は十分低い施設でありまして、
0:22:15	冷却水等による強制的な冷却を必要しない、また落とし込み問題の通常運転しております上期排風機が停止したとし、したとしても、関係部時代の金属製のダクト等で構成されていると。
0:22:30	いうこと、あと火排風機の上流側にフィルターが設置されていることから、排風機の機能が停止したとしてもゆりの放射性物質が施設外に流出することはないと。
0:22:42	ところをこういった特徴の観点から一般室長今回のプラントウォークダウンの対象と対象外としてございます。
0:22:52	続きまして、4 ページ。
0:22:56	報告資料2 ということで、
0:22:58	こちらはP l a n棒グラフの確認。
0:23:01	ここでこれは前回の面談で示しました内容に加筆修正しているものでございます。
0:23:11	1月はそのプラントウォークダウンの観点を示したものでございますが、2ポツ以降をヘリポートでございます。
0:23:19	2ポツの二つ目のパラグラフにありますように前回面談におきまして先行4施設と言われているN P D N P C D F クリプトン、
0:23:29	をご説明いたしました今回それ以外の施設として、貯蔵庫関係ですとか廃液処理系そういったものを施行令というものをここで示すことにしてございます。
0:23:42	その確認の内容につきましても、
0:23:45	火災防護の観点から三つ、(1) から (3) の類型に分けて
0:23:52	整理確認をさせていただきます (1) が通常作業で人が出入り区画、
0:23:57	区域に設置された防護対象責任と、
0:24:01	といったところで、ここは人が常時立ち入るということで、どうしても火災になります。
0:24:09	資機材ですとか照明等の電気設備が設置されていると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:14	いったことから、
0:24:16	こういった区域でも確認を
0:24:20	項目といたしましては①から、
0:24:22	⑤に示してございますように、まず基本的に対象設備ですね例えば貯層ですとか、廃棄物を廃棄物を納めている容器が不燃性、難燃性で構成されている。
0:24:36	株価
0:24:37	今2番を学校に管理されてない、可燃物が放置されていないと。
0:24:43	今野さんが、感知の観点から火災感知器が設置されているかといったところ、大岩そういった火災感知器での警報を速やかに
0:24:54	その中に特定して消防体制ができるように、受信機等が制御室等に設置されているかというところ。
0:25:04	五つ目が火災で一型全くないで万一火災出しをした場合に、速やかに初期装荷ができるように、消火器等を
0:25:14	運ぶ消火栓等があることを確認済みといったところを、こういった観点で確認してございます。
0:25:22	定例といたしまして図1から5に、ここの(1)のカテゴリー9当てはまる施設も、
0:25:30	国保運営委員会は、ウォークダウンの結果というのを示してございまして、
0:25:36	例えば議員9ページを見ていただきますと、こちらは絶句施設という待機処理施設でございまして、
0:25:46	その中の大間甲斐駅の1体駅西を貯蔵しております。左左上にあります中和反応槽、
0:25:54	いうものが人が入る、人が十分近づけるレベルですので、人が入るエリアに設置されています。こういったものにつきましては今回は当然ステンレス製でできているということを確認しておりましたり、
0:26:11	この真ん中辺りにある周囲がコンクリートの壁ですとか、そういった不燃材でできていること、またこの近傍に感知器バーッと所受信機の制御室に設置されている。
0:26:27	一番下がもう1近傍の消火器、消火栓による
0:26:30	といったところを確認してございますし、実際の位置関係につきましては次のページでございまして、
0:26:40	いつも
0:26:42	右下に二つ丸がありましてそのうち青枠で囲った方が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:46	先ほどの 19 ページの
0:26:49	確認対象のをございまして、消火器の位置ですとか消火栓の位置と、
0:26:55	いうものを、この図と現場での確認で
0:27:01	チェックしているといったところになります。
0:27:05	続きますして 13 ページ、(2)、こちらが通常作業で人が出入りしない区域ということで無放射線ん。
0:27:13	汚染の率が高いセル等ですね、そういったところに設置された防護対象設備、
0:27:20	所西。
0:27:21	こういったところの設計の特徴といたしましては、
0:27:25	人が出入りしないように基本的に人が家電物を持ち込むことはありませんし、人が作業するためにも照明等も設置していない、その後は高いことから、電気設備というのは基本的に設置できない。
0:27:40	いいですので、設置しては下限となるものがないといったところを特徴がございまして。
0:27:51	そういったところから下に示します①から③のような観点で、かご確認をしております、当然人が出ることがないということが一つの要件ですね①人が立ち入ることができない状態であることを確認する。
0:28:07	奥田におきまして当然人が入って、我々が入って写真を撮ることができないエリアですので外側からその壁面等を確認すると。
0:28:18	いったところですか。②んですが、こちらは設備自体は不燃性でできても再処理に用いる廃溶媒等を、
0:28:28	どうしても使うセルというのが出てきます。そういったところにつきましてはこの可燃物に対する対策として
0:28:37	いわゆる通常の感知器に代わる火災、通知設備という火災検知設備といたしまして例えば我々の施設ですと、温度警報装置というもので、排気の温度を確認しながら、
0:28:50	温度が上がった場合には火災であると判断するような警報装置がついていると。
0:28:56	いったところがございます。また③でありますさらに消火のためには、そういった特別な人が近寄れないということから特別な消火装置を設けてございまして、例えばその中では水噴霧消火設備がついていたり、
0:29:12	実は 2 号機のナカノを、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:14	炭酸ガスを風車する設備が設置されているということでこちらの設置状況は、管理の状況を確認しているといったところでございます。一つの例といたしまして 29 ページでございますが、
0:29:34	こちらは、というところの施設でして、315 にちょっと別の平面図がございまして、
0:29:44	四つ分セルがありまして、その制度の中に一つずつ貯槽が、この調査当然選別し構成でございますが、その助成はもう可燃性の廃溶媒を貯蔵するための助成、
0:30:01	で、29 ページの方にまず今回は写真撮影できませんので×になっていますが防火周囲の状況といたしましてセルの壁。
0:30:12	タイヘキです。もちろんコンクリートで
0:30:16	構成されている組合の安斎先生の子をコンクリートで構成されています。
0:30:22	あと探知装置といたしまして先ほどご説明いたしました温度感、警報装置というものがついていてといったところをさらにその警報装置を制御盤で確認できる。
0:30:35	その下が
0:30:38	万が一火災を感知した場合に消火のための地域炭酸ガス消火設備ですか水噴霧消火設備というものを設置状況をスイッチですねそういったものの確認をしていくといったところでございます。
0:30:54	13 ページ求めまして最後の動きは (3) 、こちらは
0:31:01	中粒久米田保管局をしている。おっしゃては、廃棄物というものではないですがどうしても現場の保全作業におきましては、
0:31:13	使いシロウズの上江洲赤木ビニールとか、そういったものをかなり汚染しているそれもあるため技術というものが生じまして、それにつきましては一次現場で仮保管をするという、
0:31:27	形態をしてございます。こういったものの場合によってはもう葛西元になる可能性が高いということから今回の確認、
0:31:37	この対象としてございましてその勧告をいたしました 14 ページにありますように、
0:31:43	201 から 4
0:31:44	に示したような観点で示し、確認してございます。
0:31:48	一つ目はこういったものにつきましてはあらかじめ保安規定で保管する場所等を決めているということですので、それ以外の場所で保管されていないか、定められた場所できちんと保管されているか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:01	②につきましては可燃性のものを保管する場合は不燃性の筈どうか、金属製容器に収容すると決められてますのでこういったことを講じているかどうか。
0:32:12	三つ目はその周囲で火災を感知するための感知器があるかどうか、形、
0:32:19	例えば、消火設備ですね、近傍に消火器屋内消火栓等があるかどうかと。
0:32:27	いうところでした、
0:32:29	プラントウォークダウンの代表例といたしまして 37 ページをご覧ください。
0:32:36	37 ページは焼却処理設備ということで、一つの例として、こちらは最初に施設から生じた可燃性の、
0:32:47	固体廃棄物を焼却して減容するための施設でございます。この焼却する廃棄物というものを、各施設から受け入れて、一時的に保管しているといったところを、左上の状況でございます。
0:33:02	2 番目の紙カートンボックスに入っていたところです。
0:33:08	今般の吉井は
0:33:11	同じように不衛生のコンクリートで仕上げられているといったところを確認した上で、火災感知の火災感知設備及びその受信機というものがきちんと設置されている場所である。
0:33:26	あとは消火設備として一番下にありますよね消火器屋内消火栓、あとはこの場合
0:33:32	亀井さんのカードボックスを比較的多く 1 ヶ所で保管してございますので、右下にありますように水噴霧消火設備というのがついていると。
0:33:42	そういったところでございます。こういった内容をすべての施設について確認して、現在取りまとめているところでした、他のを網羅的に整理するために、
0:33:56	こういった
0:33:58	写真による 1 件一葉の、
0:34:01	エビデンスと、
0:34:04	平面図でこういった箇所を確認したかという記録、またその説明のために、先ほど示しました類型に基づいてまず 1 点を整理していたところでございます。
0:34:16	機能については以上になります。
0:34:21	はいありがとうございます。規制庁側から確認等あればお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:29	そうです、大分見やすいと思いますけど、消火設備が色がどういうものかまでわかればいいと思います。
0:34:43	わかりましたそういった方々の乗り込みとともに先ほど、まだこちらではついてませんが整理表ということでそういったものを一覧にすることを考えてございますので、そちらの方でも、
0:34:55	休憩なく、閉めずせるようにしたいと思ってます。
0:35:00	相変わらずいい写真でいいんじゃないですか。
0:35:05	わかりやすくっていいと思いますよ。
0:35:11	これをだから整理して関西支社に持ってかなきゃいけないんだな、あとわあ、今、現場の現場の状況を確認して、
0:35:21	何かこれ、評価っていうんですかね。
0:35:25	葛西のあれですかね、勉強評価状況評価っていうのは何か、そこなんですよね。へえ。36ページの写真とかは駄目ですよ。本間近江。
0:35:38	ここまで持ってない。もう駄目だって言われてます。あくまで点検とか、法令上の検査とかっていう話じゃないので、そんなこと言いませんけど。
0:35:50	あとむき出しとかは多分駄目っていう。
0:35:58	あくまで調査だと僕は認識しますけど、性能維持施設に小馬鹿にするために、火災設備をこう確認したんだっていう調査と認識しますが、検査とかそういったこと言っちゃうと、
0:36:13	いろいろ出てくると思います。
0:36:17	どこまで見せるかってあると思うんですけど、もう全部、
0:36:21	そうですねはいそれも探そうですね、うん。
0:36:27	これからちゃんとしますっていうのもあるでしょうね。うん。新規制基準対応で見ないって言うてるんで。そうですね。わかった。そうですね。そこまでは、ここまでするところです。議論あることじゃないか。わかりました。
0:36:46	勉強評価。
0:36:49	3方策ができてるってということで、その組み合わせで対応できますっていう説明は、
0:36:55	一つだとは思いますが。
0:36:59	それでそうだねって、何かなあ、あるんでしょう。なるんですかね。既存既存の2カ年間でって、管理課にはそういうふうに。そう。そう。そうですね。ええ。うん。
0:37:14	全部をね。はい。はい。はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:19	もうもういいんじゃないの。
0:37:23	いえ、これ以上何しろっていう、
0:37:29	ニュートラルフラットに見せて、
0:37:33	ほんで、それで、それではいそっちなんです。
0:37:38	もう、
0:37:40	やれっていうならやるんじゃない。
0:37:46	NE IMAとか、それを急ぐっていうことですかね。
0:37:52	はい。
0:37:54	減少機構中尾林ですいろいろ議論出ると思いますし我々の方でもやっぱりウオォークダウンで気づき事項とかありまして、こう改善してはどうかというようなところも
0:38:06	内部では議論してございますのでそういった改善策も含めて、こういったことで他施設のも火災防護に努めていくといったところをし、説明していきたいと考えてございます。
0:38:19	それだったらいいと思います。だからいいと思いますね。
0:38:23	はい。だから、基本のところには何か改善策とか何かそういうのをとかがつくような感じだといいかもしんないですね、見栄えがね。
0:38:33	それぞれの個票に、浅い感知設備消火設備で改善策とかって言ってつけるっちゃうのはあると聞いたんですね。
0:38:46	例えば、
0:38:51	うん。
0:38:53	やっぱりそこら辺はそこら辺でわかりやすく、クリタ法がいいと思います。
0:39:00	了解いたしました。
0:39:05	うん。
0:39:07	はい。
0:39:08	でも時間かけた時あって、かなりあれですね、やっぱり、
0:39:15	調べましたねっていう感じですね。お疲れさんでしたね。これは別に発注分たちだから、何とも言いようがないですけど、お疲れさんでした。しか言いようがない。
0:39:32	常よくやりましたねこれ。
0:39:37	はい。小田原。
0:39:50	うん。
0:39:51	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:54	今日の時点ではそこまでですかね。
0:40:01	はい、わかりました。はい。細かい点ですいません。19 ページの中は反応槽のところの、
0:40:11	と、20 ページでちょっと見比べてるんですけど、
0:40:15	これあの中反応槽のあるところに感知器は何なんでしたっけ。
0:40:31	一方、すいませんここ、吹き抜けになってまして、この階地下 2 階なんですけども、地下 1 階と吹き抜けになってまして地下 1 階側にお感知器がついているのでちょっとこの図面上、
0:40:48	そういうのが読めないというようになってますね。
0:40:51	ちょっとそこ、そういったところを次の報告をしたいと思います。
0:40:56	はい、伊勢須藤。
0:40:58	感知器は 19 ページで、
0:41:01	写真の 09 の写真の 03 の、
0:41:06	煙感知器っていうのは吹き抜けの天井についてるっていうことなんですかね。
0:41:11	そうですね。
0:41:13	はい。
0:41:24	パッとごめんなさい、29 ページの廃液貯証のところの、
0:41:33	ここはね、
0:41:35	今度、
0:41:39	39
0:41:40	セル内温度警報、警報というのがついてて、
0:41:44	その間を、温度センサー自体は、換気系についてるっていうことなので、
0:41:53	この熱電対自体は、
0:41:56	写真の方で 29 ページの、
0:42:00	3 番の写真で熱電対ちゅうのは示していただいているんですけど、
0:42:06	これは数、どっか途中の給料があるっていうことなんですよね。ここが書いてあるんですけどごめんなさい。
0:42:18	はい。ただし、基本的にするから、
0:42:25	出てくる排気ダクトですけんついてるんですが、かなりセルに近い側につけると。
0:42:32	いったところで決まってるし、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:36	隣の部屋の熱電対がこの書いてあるのはそうそう、そうなんですすいません。
0:42:42	はい。
0:42:48	型の、
0:42:49	35 ページの
0:42:52	不燃シートの、より午後っていうところなんですけど、これは
0:43:01	燃え広がらないようにあれなんですよ、至難年始分シートを。
0:43:07	カーテンのように設置してるっていうことなんですかね。
0:43:16	はい。そうですね。こちらの自分が自身が燃えた場合に広がらないというのがありますしまた周りからの火災の丁稚、延焼しにくいようにというところで設置しているものと思ってます。
0:43:32	家天井川。
0:43:36	屋根である。
0:43:38	ていうか、
0:43:40	ちょっとその辺、岡部です。
0:43:46	横に広がらないようにっていうのが、その何だろう、感知、感知器の写真があるんですけど、
0:43:52	感知器は、
0:43:55	との関係で、これカバーしてんのかなっていうところなんですけど。
0:44:07	は、愛知銀行岡林です。天井という課長分は触れ合いシート被せてごさいません。
0:44:18	一つその感知器の件もありますがここ
0:44:23	消火設備にありますように水原の消火設備が天井についてますので、はい。
0:44:30	現状空いてるってことですね。
0:44:32	はい。はい。
0:44:46	もう少し詳細に整理してから見た方がいいかもしれないねこれは、
0:45:00	うん。
0:45:09	もうちょっと細かく表を作るんですよ。表なりえなり、
0:45:14	ポンチ絵というか、
0:45:17	ベースでこれを別にして、
0:45:20	書き加えたりなんかするんですよ。
0:45:25	はい。20 キロ中橋です。おっしゃる通りのことを考えてございましてまず一覧で

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:33	見れる状況が見れるような表とあとはその特徴的な対策をしている部分については個別の説明というものを付け加えようと考えてございます。
0:45:45	いいと思います。そういう資料のまとめでいいと思いますけど。
0:45:50	ちょっとまとまったところで、
0:45:52	一通りもう1回ヒアリングをさしていただいて、その上で、笠井力っていう感じがしますけどね。
0:46:10	段取りを曲がってます。はい。みんな行くから。はい。はい。はい。はい。
0:46:16	他にね。
0:46:23	よろしいでしょうか。はい。
0:46:29	芝田スケジュールですかね。
0:46:33	現状機構、大野イシイさんからスケジュールをご説明させていただきます。後9ページになります。都議会の面談につきましては年度末、11月の12日以上水曜日を
0:46:45	お願いしたいと考えております。先生の内容につきましては、定例で説明させていただいております工程洗浄、それからガラス固化処理の進捗状況に加えまして、
0:46:57	保全の方針の方ですね、こちらについても説明させていただきたいと考えておりますので、その他の案件ということで設工認の申請に向け、
0:47:09	発作説明特徴とも考えております。
0:47:13	簡単ですが説明は以上です。
0:47:17	はいありがとうございます。
0:47:19	4月12日は、一応13時半から、
0:47:25	予定をしています。
0:47:28	はい。
0:47:33	研修機構イシダで了解しました。
0:47:39	はい。
0:47:40	他よろしいでしょうか。
0:47:43	細野ですけど、
0:47:48	お世話になりましたっていうか、
0:47:50	異動になりました4月1日に異動になりました、今度しようとかですね。
0:47:59	あとは運転物の輸送後の確認とかそういう、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:04	検査の方、担当することになりまして、何何でやるのかよくわかんないんですけどとりあえず行けっちゃうことなんで、
0:48:12	やらさしていただきたいと思いますけども、皆さんに大小いろいろと失礼なこともしましたけども、本当によくやっていただいて、ありがとうございました。
0:48:22	流れを止めず、また進めていただければと思いますんでよろしくお願ひします。どうもありがとうございました。
0:48:32	ありがとうございました。阿部白木中根です。
0:48:36	なかなかいろいろご指導いただき、ありがとうございます。いろいろな安全対策金融かなり混乱んいった状況の中で、いろいろご指導いただいて、
0:48:48	再処理としてもかなり前向きに取り組む考え方が少しずつ、おかげさまで続いてきたのかなと思ってます。引き続き、これまでのご指導を
0:48:58	生かすためにもに取り組んでいきたいと思ひます。本当にありがとうございました。よろしくお願ひ。ぜひよろしくお願ひします。ありがとうございました。ご協議になりました。
0:49:09	ありがとうございます。
0:49:12	スポックリタ部長と会えないという大戸寂しい。
0:49:23	プロジェクトです。は、今までありがとうございました。特に地震竜巻の地震、津波の
0:49:33	漂流物も含めてですけど、方向性も含めて、建設的な対応だと思ひてお願ひします。ありがとうございました。いえ。こちらこそどうもありがとうございました。
0:49:46	はい。以上です。すいません。
0:49:49	企業側から何かありますか。
0:49:58	原子力交付クリタです。
0:50:02	先ほど 4.1 の最盛期をちょっとご紹介させていただきます。センター長の永里ですけども核サ研の所長を、になります。
0:50:18	センター長は私栗田がやることになります。
0:50:25	もう副センター長は2人体制にまた戻る形で、今室次長が聞いているかと思ひますけど、
0:50:37	あと
0:50:39	矢口部長が副センター長になると、いう形で3人の体制で
0:50:48	進めていくような形になります。1回ざっとですけど、全く交代がない体制でいいんじゃないでしょうか。はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:00	何とも言いようがないですけど。
0:51:08	はいありがとうございました。はい。今までちょっと3年、再処理以外のところを見てもらってきて、第三者的に、
0:51:22	ヒアリングをつき合っていただきましたから今度はまず最初に戻るとい うことで、引き続き、
0:51:32	はい、よろしく願いいたします。よろしく願いします。
0:51:40	なければ、はい。それでは以上で本日のヒアリングは終了します。あり がとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。